

『ソク・サバーイ！ カンボジア・サッカー見聞録～牛の向こうに未来が見える～』 Vol. 1

● J F A サッカー 1 級 審判 インスストラクター 唐木田 徹



観客は多い時で2～3, 000人くらい。観戦は無料

暑い毎日が続きます。風通しの良い部屋の中が常に30～32度を指しています。日によって、「今日は涼しい！」と感じる時は28、9度、「今日はちょっと暑くないか？」という時は33、4度です。外の気温は……、推して知るべし。

カンボジアの首都・プノンペンから月1回リポートをお届けします。基本はサッカー関係ですが、時として（もしかするとかなり）

脱線するかもしれませんが。カンボジアの今を感じ取っていただけたら幸いです。

まずはカンボジアの概要を少し。カンボジア王国、面積は日本の約 1/2、人口約 1,400 万人。20 の州と 4 つの特別市（プノンペンもその一つ）からなっています。メコン川の下流域に属し広大なメコンデルタを利用した典型的な農業国です。フランス領インドシナ連邦に属していたため、かつて（1950 年代）は『東洋のパリ』といわれるほど美しい街並みでしたが、1970 年からの国政の変動、ベトナム軍の侵攻、その後の内戦と約 20 年間の混乱で荒廃し、その後 93 年より新生『カンボジア王国』として新たな歩みを始め、近年急速に発展・開発されつつある国です。

さて、肝心のカンボジア・サッカー事情です。F I F A ランク 184 位（207 国・地域中）、国内ではリーグ戦の C P L (Cambodia Premier League) とカップ戦のフンセン・カップがあり、それぞれ日本の J F L、天皇杯というところでしょうか。C P L は 10 チーム総当たり 2 回戦、フンセン・カップは 24 チームの参加で予選リーグ・決勝トーナメントが行われます。

これしか試合がないのか？とお思いでしょう。ここから話がやや

こしくなります。



市内でこぼこグラウンドでの大学トーナメント。審判章は？

この国ではこのほかに、ナショナル・トーナメント(国体みたい?)、大学、高校ー中学、小学各トーナメントが開催されます。しかし、これらは教育・青年・スポーツ省が開催し運営一切を独自に行うため、サッカー連盟は関与できません。では誰が審判をやっているのかといえば、スポーツ省がアポイントした審判員で、その中にスポーツ省公認(?)の審判とサッカー連盟公認の審判が混在しています。そんな経緯があるせいか、この大会では誰も審判章(サッカー連盟公認章)をつけずにやっているようです。私としてはこれは大

きな誤算です。CPLで副審や4thばかりの若手のスキルアップを試す実戦の場がないのです。今年連盟が初めて開催するというU-15トーナメントに期待しているのですが、8月開催予定なのに未だに詳細がわかりません(7月27日現在)。しかし、ここはカンボジア。雄大なメコン川の流れのようにゆったりと、きっといつか何とかなるのでしょう。



CPLの審判団と。資格は国際主審・副審

※『ソク・サバーイ』とは、クメール語で「元気です」「元気ですか?」(正式にはソク・サバーイ・テー?)の意。